

令和7年度 仙台 BOSAI-TECH イノベーション創出促進事業
自治体提供課題詳細

タイトル	不法投棄やごみ散乱等の防止
提供自治体名	宮城県仙台市
掲載期限	令和7年8月29日まで

1. 解決したい課題の背景

- 仙台市には、毎年200件程度の廃棄物の不法投棄や不適正排出等に係る通報が寄せられる。それらの多くは、行為者が不明であり、原則、場所が民地でない場合は、本市の負担で廃棄物を処理している。
- 不法投棄等を監視するため、平日は市職員、休日は委託業者が継続的にパトロールを行っており、また、頻繁に不法投棄等が発生する場所（市内東部沿岸部や西部山間部等）にはカメラを設置しているが、映像に行為者が映っていても、画質等の問題で特定できないこともある。
- また、市内中心市街地では、不法投棄等に加え、飲食店等から排出される営業ごみを鳥獣等が散乱する状況も見受けられ、正に「ごみがごみを生む」状況である。
- 周辺の事業者に対して、営業ごみの出し方等に関する周知啓発活動も行っているが、店舗や従業員の入れ替わりが激しいため、十分徹底されないのが現状である。
- 特に東北一の繁華街である国分町地区では、最近、不法投棄や営業ごみの散乱等が目につくようになっており、市民の方々から当市に度々苦情が寄せられている。頻繁に不法投棄や営業ごみの散乱等が発生する場所は、職員が定期的にパトロールを行っているが、実効性のある対策を講じることができていない。

2. 実現したいこと

- 不法投棄や営業ごみの散乱等に対応するための人的なコスト及び処理負担の削減。
- 行為者や原因発生者の特定。
- 特に不法投棄や営業ごみの散乱等が頻繁に発生する場所で未然に防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

3. 想定している技術（こだわらない場合はその旨を記載）

- 不法投棄や営業ごみの散乱等の抑制に寄与するもので、当市において実証可能であり、かつ、導入や実証に伴う負担が少ないものであれば、特に技術にはこだわらない。

4. 希望する実証時期・実証場所（現時点の想定）

<実証時期>

- ・ 令和8年1月までの実証を希望する。
- ・ なお、不法投棄等の防止については、草木の繁茂が落ち着き、見通しが良くなる秋頃を希望する。

<実証場所>

- ・ 不法投棄等の防止は、市内西部山間部や東部田園地区等想定。
- ・ 営業ごみの散乱等の防止は、中心市街地を想定。

5. その他制約事項・補足事項（関連ホームページ等）

- ・ 市内で発見された不法投棄のイメージ



- ・ 中心市街地で鳥獣等により散乱した営業ごみのイメージ

